

## 第5回政策調整会議結果報告

1 日 時 平成21年6月24日(水) 13:00 ~ 17:15

2 場 所 役場2階 審議室

3 出席者

《構成員》 田浦副町長、服部総務課長、岡崎保健福祉課長、田中町民生活課長、北向建設水道課長、前田教育振興課長

《庶務》 石田主幹、新井主任

4 内 容

1 事務事業評価(事後評価)2次評価

児童登校ハイヤー借上事業

[担当から資料により説明]

・スクールバス路線廃止に伴う代替措置として、西小学校及び上富良野中学校に通う児童生徒に対し、ハイヤーを借上げ登下校の送迎を行っている。

[2次評価]

- ・必要性 A、効率性 C、公平性 C、評価 C
- ・次回評価時期 1年、協働の可能性 可
- ・児童生徒の通学のためには必要ではあるが、他の遠距離を徒歩で通学している児童生徒との公平性について検討が必要。
- ・遠距離通学の基準等を明確にしておく必要がある。
- ・この事業自体は、代替措置であり、当時住民会等と協議した内容を確認する必要がある。
- ・タクシー会社との契約方法について検討が必要。
- ・路線バスの運行についても、検討しているところであり、この事業と併せてバス運行について検討が必要。

児童用机・椅子購入事業

・痛みの激しい学習用机・椅子の更新事業として意思決定し、計画どおり整備を進めている(H21が最終年度)事業であり、評価対象外とする。

中学校学習活動事業

[担当から資料により説明]

・学習活動に伴うバス運転業務委託および、バスの借り上げを行っている。

[2次評価]

- ・ 必要性 A、効率性 B、公平性 A、評価 B
- ・ 次回評価時期 3年、協働の可能性 不可
- ・ 学習活動に伴う移動手段の確保は必要であるが、各学校のバス使用日程をあわせるなど、効率的に実施できないか検討が必要（3年後に工夫の状況をチェックする）。

#### 中学校学校図書・教材備品整備事業

- ・ 必要な教材の整備は当然の事業であり、評価対象外とする。

#### 東中中学校体験学習事業

[担当から資料により説明]

- ・ 総合学習の授業として、地域と協働して行っている事業である。
- ・ 学習カリキュラムであり、評価対象外とする。

#### 特別支援教育就学助成事業

- ・ 国の施策として全国統一的なルールのもと行っている事業のため、評価対象外とする。

#### 町民芸術劇場事業

[担当から資料により説明]

- ・ 生の舞台芸術や音楽等、各種芸能活動に接する機会をもうけ青少年等の情操教育の一環として公演鑑賞を行っている。

[2次評価]

- ・ 必要性 A、効率性 B、公平性 B、評価 B
- ・ 次回評価時期 2年、協働の可能性 不可
- ・ どの年代を対象として実施するか検討が必要であり、検討結果をH22年度に反映し、H23年度に事後評価を行うこととする。

#### 女性教育振興事業

[担当から資料により説明]

- ・ 女性を対象に学習機会の充実、団体活動の育成、スポーツ活動等の推進を行っている。

[2次評価]

- ・ 必要性 A、効率性 B、公平性 B、評価 C
- ・ 次回評価時期 3年、協働の可能性 可（協働の事業として実施している）
- ・ 参加者の固定化改善など、今度のあり方について検討が必要。

### 発明工夫展事業

[担当から資料により説明]

・小中学生を対象に創意工夫した作品を募集し、展示会を行い、入選作品には賞状等を贈呈している。

[2次評価]

- ・必要性 A、効率性 A、公平性 A、評価 C
- ・次回評価時期 3年、協働の可能性 不可
- ・適切に実施されているが、さらなる推進のため、新たな事業展開（幅広い創作活動を奨励するような、事業への見直しなど）が必要である。

### 読書コンクール事業

[担当から資料により説明]

・読書普及活動の推進のため、読書感想文及び感想画を募集し、表彰や文集づくり、文化祭での展示などを行っている。

[2次評価]

- ・必要性 A、効率性 A、公平性 A、評価 A
- ・次回評価時期 3年、協働の可能性 不可
- ・適切に実施されており、今後も計画どおり実施する事業とする。

### 公民館活動事業

[担当から資料により説明]

・学習機会の促進と個人学習の奨励を行うための各種講座を開催している。

[2次評価]

- ・必要性 A、効率性 B、公平性 A、評価 B
- ・次回評価時期 3年、協働の可能性 可
- ・住民の意見を聞くなど、より住民ニーズに応えることができるように、検討が必要。
- ・マイプラン・マイスタディ講座のように、住民主導による主体性をもった学習活動が活発になっていくような支援が必要。

### 図書館運営事業

[担当から資料により説明]

・蔵書約 41,000 冊があり、貸し出しや、読み聞かせなどにより、読書普及活動の推進を行っている。

[2次評価]

- ・ 必要性 A、効率性 B、公平性 A、評価 B
- ・ 次回評価時期 3年、協働の可能性 可
- ・ 指定管理者制度や委託、ボランティアの活用などで施設運営を行うことが可能か、検討が必要。
- ・ 図書館としてのあるべき姿を、明確にし、それに合わせた運営・整備を計画的に行う必要がある。